助かる命を救うために

7/28 比曽行政区がAEDを設置

比曽行政区は、第5次総合振興計画「地域くらしアッププラン」を利用し、地区集会所にAED（自動体外式除細動器）を設置しました。

昨年、比曽行政区にドクターヘリが来て患者を搬送した際、ヘリの中では心臓マッサージができないことを知り、行政区内で話し合い設置することにしました。

『当地区は救急車が来るにも時間がかかり、心臓マッサージができる状況であれば助かる確率は上がると思う。「地区住民の命は地区で守る」を合言葉に地区行政を進めていく』と菅野区長。

行政区では、8月30日に行われた集会に会わせて消防分署職員からAEDの使い方について講習を受けました。

▲「いつでも使えるように」との理由から集会所の外に設置されたAED

AED（自動体外式除細動器）とは？

「心室細動」という心臓の筋肉がけいれんして細かく震え、心臓が正しく鼓動できない不整脈に電気ショックを与えて正常な状態に戻すための機械。

音声ガイドに従って使用すれば、専門知識のない一般の方でも十分扱えます。

こころのぽけっと

本の題名は「くじけないで」

「日本が世界一の長寿国家に」との報道があったと思ったら、一方で「家族がいるのに100歳以上の高齢者の所在が不明」などというチグハグが相変わらず同居している日本です。

飯舘村は「までいライフ」でこのようなチグハグを少しでも元に戻していこう、なくしていこうとしているところです。

ところで、今99歳のおばあさんが初めて出した詩集が全国の書店で異例のベストセラーになっているという記事を見ました。

持ち前の好奇心ゆえ早速この本を買い求めました。感動した本はこれまで何冊もありましたが、この詩集からも心が洗われ元気の源をもらったのでした。

その詩集からいくつかを紹介すると「返事」という詩では、『風が　耳元で「もうそろそろあの世に行きましょう」なんて猫なで声で誘うのよ　だから私は　すぐに返事をしたの「あと少しこっちに居るわ　やり残した事があるから」　風は　困った顔をして　すーっと帰って行った』

また、お医者さんとのやりとりを詩にした「先生に」という詩では、『私を　おばあちゃん　と呼ばないで「今日は何曜日？」「9＋9はいくつ？」そんなバカな質問はしないでほしい「柴田さん　西条八十の詩は好きですか？　小泉内閣をどう思いますか？」こんな質問ならうれしいわ』

なんとみずみずしい感性、なんと旺盛な好奇心でしょう。間もなく100歳の方から長寿社会を生き生きと生き抜くヒントを教えられました。「この本を知っているか知らないかで人生が全く違ってくる。」こんな感想も。

〝ほんの森いいたて〟に在庫あり、です。

平成22年8月24日

飯舘村長　菅野　典雄

長年の防犯活動活動が表彰されました

8/18 菅野敬さんが「防犯功労者」表彰を受賞

「飯舘村防犯指導隊」の隊長を務める菅野敬さん（関根・松塚）が東北管区警察局長と東北防犯協会連絡協議会長の連名による表彰を受賞し、村長室で伝達式が行われました。

今回の表彰は、菅野さんが防犯連絡責任者や飯舘村防犯指導隊隊長として長年にわたり地域の安全活動に尽力してきたことが評価されたもので、南相馬警察署管内でただ一人の受賞です。

菅野さんは「地域の安心安全は地域の交流が大切。今後も警察と連携して頑張りたい」とこれからの抱負を述べていました。

▲表彰を受けた菅野さん（中央）と武田啓市南相馬警察署長（左）、村長

飯舘村消防団が出場

8/1 第37回福島県消防操法相馬地方大会

南相馬市「テクノアカデミー浜グラウンド」で第37回福島県消防操法相馬地方大会が開催され飯舘村消防団から第1分団機動部第1部がポンプ車操法の部に、第1分団第4部が小型ポンプ操法の部にそれぞれ出場し練習の成果を披露しました。

ポンプ車操法の部、小型ポンプ操法の部ともに惜しくも入賞は逃しましたが、小型ポンプ操法の部で指揮者花井孝雄さん（伊丹沢）と3番員庄司裕憲さん（伊丹沢）が優秀操作員に選ばれ表彰を受けました。

◀大会のようす（小型ポンプ操法の部）

誕生おめでとう

赤ちゃんのなまえ	親の氏名	行政区
赤石澤　彪（ひゅう）くん	智・亜紗美	飯　樋　町
北山　和輝（かずき）くん	栄・桂子	飯　樋　町
花井　夢奈（ゆめな）ちゃん	淳・春奈	大久保・外内

すくすくと元気に育ってね

おくやみ

氏　名	年　齢	行政区
古川　勇平	71	小　宮
菅野　ミツイ	91	小　宮
北里　ハルノ	96	草　野
早川　潔	82	宮　内

ご冥福をお祈り申し上げます

（7月21日から8月20日までに届け出のあったものを掲載）
※この欄に掲載を希望しない方は、届出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごき

（平成22年8月1日現在）

人口	今月（前月比）	昨年同期
男	3087人（－2人）	3092人
女	3067人（－4人）	3091人
計	6154人（－5人）	6183人
世帯数	1707戸（＋1戸）	1713戸

◆◆◆7月1日～31までの人口動態◆◆◆

転入	9人	転出	15人
出生	6人	死亡	6人

（平成17年国勢調査に基づき増減された現住人口）